

国際地域農業特論 (2単位)

担当者氏名 稲泉博己・宮浦理恵

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

世界各地の食料・農業問題への理解を深め、農業問題を国際的な視野から捉える見方を養う。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

食料需給	農業生産	農産物貿易	アジア
アフリカ	アメリカ	国際協力	持続的社會

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	国際地域農業特論の対象とねらい授業の目的	各界のテーマを事前に確認し、関連する情報を各自収集し、地域の歴史と自然環境について十分知識を得ておくこと。授業の後には、紹介された個別の事例に関連する文献を検索し、読んで各自整理しレポートとして提出すること。なお、習得具合を確認するため、複数回小テストを行う。
2	アフリカ地域	アフリカ地域の社会と農業の概況	
3	アフリカ地域	アフリカ地域の農業：キャッサバの利用	
4	中南米地域	中南米地域の社会と農業概況	
5	中南米地域	南米地域の農業：ブラジルの大規模農業	
6	中南米地域	中米地域の農業：キューバの農業	
7	東南アジア地域	島嶼部東南アジアの地域生態と農業概況	
8	東南アジア地域	インドネシアの農業①：ジャワの集約的農業	
9	東南アジア地域	インドネシアの農業②：バリントゥケと農業	
10	北米地域	北米地域の社会と農業の概況	
11	北米地域	北米地域の農業：カリフォルニアの有機農業	
12	ヨーロッパ	ヨーロッパの農業：バイオゲミク農法	
13	日本	日本の地域生態と農業	
14	日本	中山間地農業：新潟県上越市の事例	
15	総合討論	地域農業に関する今後の課題	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

世界の資源地図／ライフ・リサーチ・プロジェクト／青春出版社 (2007)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

事典東南アジア—風土・生態・環境／京都大学東南アジア研究センター編／弘文堂 (1997)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート提出 (50%) および複数回実施する小テスト (合計 50%) によって評価する

◆オフィスアワー

金曜 2 限

◆その他受講上の注意事項

授業は、受講者の言語能力に応じて日本語と英語のバイリンガルで行う。